



# Salesforce連携オプション 運用ガイド

最終更新日 : 2025.9.26

Version : 1.0.0

---

株式会社オロ クラウドソリューション事業部



## 目次

- はじめに
- Salesforceで連携エラー一覧を確認する方法
- 既存のSalesforce商談と既存のZAC案件の連携方法
- 既存のZACクライアントの連携方法
- ZACに連携するSalesforceの項目を変更する方法
- ZACに連携するSalesforceの項目を追加する方法
- 連携対象のフェーズの変更方法

# はじめに



## ガイドの目的

このガイドでは、Salesforce連携オプションのセットアップ後の運用変更や、セットアップ時に特定の理由で必要となる作業について説明します。セットアップ方法については、別資料のセットアップガイドをご参照ください。

Salesforce連携をご利用のお客様が、お客様ごとの運用に合わせて調整いただくための参考にしていただくことを目的としています。

# Salesforceで連携エラー一覧を確認する方法



## 本章の目的

本章では、Salesforceで連携エラーとなっている商談の一覧を確認する方法を説明します。

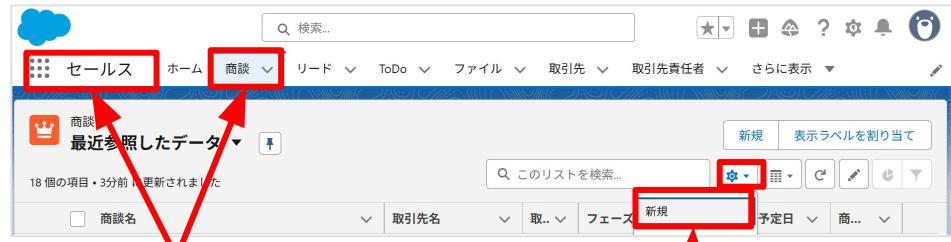
本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・セットアップの検証中に、連携エラーとなっている商談を一覧で確認したい
- ・マネージャーが連携エラーとなっている商談一覧を確認したい
- ・各営業担当が自分が担当している商談の連携エラー一覧を確認したい

## 商談リストの作成

エラー商談(チェック実行失敗)を一覧で確認できるよう、商談リストを作成します。

- ①「セールス」の画面から「商談」を選択します。
- ②「リストビューのコントロール」のアイコンをクリックし、「新規」を選択します。
- ③「リスト名」、「リストAPI参照名」に任意の名称を入力し、「誰がこのリストビューを表示しますか？」について選択した上で、「保存」をクリックします。



①「商談」をクリック

②「新規」をクリック

The screenshot shows the 'New List View' configuration screen. A large red box surrounds the input fields for 'List Name' (連携エラー一覧) and 'List API Reference Name' (zac\_error\_view). Below these, a question asks 'Who will display this list view?'. Three radio buttons are shown: 'Only I can display this list view' (unchecked), 'All users can display this list view' (checked), and 'Share this list view with user groups' (unchecked). At the bottom right, there are 'Cancel' and 'Save' buttons, with a red arrow pointing to the 'Save' button.

③入力項目に入力した上で「保存」をクリック



## 商談リストの作成

④「検索条件」のアイコンをクリックします。

⑤「検索条件を追加」をクリックし、

下記入力をした上で「保存」をクリックします。

項目 :ZAC連携実行結果

演算子 :次の文字列と一致する

値 :失敗

⑥次に「リストビューのコントロール」のアイコンをクリックし、「表示する項目を選択」を選択します。

⑦「ZAC連携エラーメッセージ」、「ZAC連携実行結果」、「ZAC連携実行日時」等の項目を参照可能項目に設定し、「保存」ボタンをクリックします。

※フィルターや列の編集は、適宜調整してください。

例えば、自分が商談担当者になっている商談のみの連携エラー一覧を表示したい場合は、⑤で商談担当者のフィルターを設定することで可能になります。

④「検索条件」をクリック

項目  
ZAC連携実行結果

演算子  
次の文字列と一致する

値  
オプションを選択  
失敗

⑤左記の入力をした上で「保存」をクリック

⑥「表示する項目を選択」をクリック

⑦左記設定の上で「保存」をクリック

## 作成例

連携エラー商談						
5 個の項目・並び替え基準: 商談名・検索条件: ZAC連携実行結果・数秒前に更新されました						
	商談名	取引先名	フェーズ	ZAC連携実行結果	ZAC連携エラーメッセージ	
1	テスト	C社	D-1...	失敗	2025-01-...	事業セグメントコードを入力してください。
2	デモ用案件 (...)	C社	D-1...	失敗	2025-01-...	事業セグメントコードを入力してください。
3	フローテスト	A社	D-2...	失敗	2025-01-...	事業セグメントコードを入力してください。
4	フローテスト	C社	D-1...	失敗	2025-01-...	事業セグメントコードを入力してください。
5	連携テスト②...	C社	D-1...	失敗	2025-01-...	案件の進捗が受承の場合は決定確率コードを入力してください。

# **既存のSalesforce商談と既存のZAC案件 の連携方法**



### 本章の目的

本章では、連携を介さず作成されたSalesforce商談とZAC案件を連携させるための設定方法を説明します。

これらの案件を連携させるためには、Salesforce商談にZAC案件のJOBNo.を、ZAC案件にSalesforce商談の商談IDを登録する必要があります。

本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・利用開始時に、Salesforce商談と対応するZAC案件が既に存在している
- ・緊急対応等の理由で、Salesforce商談と対応するZAC案件を手動で作成した



## 既存商談の更新

既存のSalesforce商談と既存のZAC案件を連携させるための手順について説明いたします。

連携させるためには下記の2つの登録が必要になります。

- Salesforce項目「JOBNo.」にZAC案件の「JOBNo.」を登録
- ZAC案件の「旧JOBNo.」にSalesforceの「商談ID」を登録

※連携によりZAC案件を新規作成した場合は、上記2つの登録は自動で実行されます。

### 【手順】

①Salesforce商談の項目「JOBNo.」に、対応するZAC案件の「JOBNo.」を入力する。

②Salesforce商談のZACに連携される項目に正しい入力がされているか確認する。

※本ページの作業完了後に、対象となるZAC案件の案件基本情報は、Salesforceに登録されている内容で上書きされます。

正しい登録となっていない場合は、必ず修正をしてください。

③ZAC案件の案件基本画面の項目「旧JOBNo.」に対応するSalesforce商談の「Record ID」を登録する。

④連携実行後、Salesforceの商談を確認し連携されていることを確認します。

※連携の実行方法については、セットアップガイドをご参照ください。

Salesforce

The screenshot shows the Salesforce Lightning interface for an opportunity. A red box highlights the URL bar which shows a specific opportunity record ID. The top navigation bar includes Sales, Home, Opportunities (highlighted), Leads, To Do, Files, and Contacts. Below the navigation is a search bar and a sidebar with a crown icon labeled '連携テスト'. A red callout box points to the 'JOBNo.' field in the main form area with the text '①対応するZAC案件の「JOBNo.」を入力'. Another red box highlights the 'JOBNo.' field itself. The main form fields include '営業担当者コード' (Salesperson Code) with value '0011 - テスト社員 11', '集計区分コード' (Consolidation Category Code) with value '9986 - ZAC (6)', '引合日' (Lead Date) with value '2025/09/17', and 'JOBNo.' (Case Basic) with value '2200020'. A red arrow points from the 'JOBNo.' field in the ZAC step to this 'JOBNo.' field in Salesforce.

②ZACに連携される項目情報を確認

商談ID

③対応するSalesforce商談の「商談ID」を登録

ZAC

The screenshot shows the ZAC Case basic page. A red box highlights the '旧JOBNo.' field in the '案件情報' tab, which contains the value '006gK000005nby1QAA'. A red arrow points from this field to the 'JOBNo.' field in the Salesforce step. The page also shows tabs for '担当者情報', '取引先情報', 'スケジュール', '付帯情報', and 'カスタムフィールド情報'. At the bottom are '登録' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

## **既存のZACクライアントの連携方法**



## 本章の目的

本章では、ZACのクライアントマスタに既に登録されているが、Salesforceに連携されていない取引先の連携方法について説明します。

ZACの案件に商談先情報を連携するためには、Salesforceの取引先にZACのクライアントコードが登録されている必要があります。

通常の連携フローでは、ZACに新規クライアントを登録する際にクライアントマスタにSalesforceの取引先IDを登録すると、

対応するSalesforce取引先にZACのクライアントコードが連携される仕組みとなっています。

ZACのクライアントマスタ登録時にSalesforceの取引先IDを登録していない場合は、Salesforceの取引先オブジェクトにZACのクライアントコードを直接登録いただくことでも、ZACの案件に取引先情報を連携することが可能になります。

本章では、Salesforceへの登録により、Salesforce取引先とZACクライアントを連携させる方法をご案内します。

本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・連携オプション利用前にZACに登録されたクライアントがある
- ・ZACにクライアントマスタ登録時に、Salesforceの取引先オブジェクトに対応する取引先が存在しなかつたが、その後登録された



## ZACクライアントマスタの出力

ZACからクライアント得意先マスタCSVを出力します。

- ①サイドメニューから「アウトプット」をクリックします。
- ②「クライアント・得意先マスタCSV出力」をクリックします。
- ③検索条件を指定した上で、「CSV」のボタンをクリックします。

The screenshot shows the ZAC client interface. On the left, there's a sidebar with '各種経費申請' (Various Expense Application) and 'マスタ' (Master). Under 'マスタ', there are two buttons: 'アウトプット' (Output) and 'クライアント・得意先マスタCSV出力' (Client Supplier Master CSV Output). A red box and arrow point to the 'アウトプット' button, labeled ① 'アウトプット'をクリック. Another red box and arrow point to the 'クライアント・得意先マスタCSV出力' button, labeled ② 'クライアント・得意先マスタCSV出力'をクリック.

The screenshot shows the 'Output' search screen. At the top, there's a title 'アウトプット' and a dropdown 'アウトプットメニュー'. Below it is a search bar with '検索条件を選択...' and a clear button. The main area has several search criteria fields: 'クライアント・得意先' (Client Supplier), 'クライアント・得意先コード' (Client Supplier Code), '検索種別' (Search Type), 'クライアント事業内容' (Client Business Content), '事業セグメント' (Business Segment), and '年' (Year) and '月' (Month) dropdowns. There are also checkboxes for 'クライアント' (Client), '得意先' (Supplier), '請求先' (Billing Party), 'カナ検索' (Kana Search), '指定しない' (Not Specified), 'キーワード検索' (Keyword Search), and 'クリア' (Clear). A red box and arrow point to the 'CSV' button at the bottom right of the search area, labeled ③ 'CSV'をクリック.



## Salesforce取引先レコードの出力

Salesforceの取引先オブジェクトから取引先レコードを出力します。

①「セールス」画面の「レポート」のタブを選択し、「新規レポート」をクリックします。

②レポートタイプに「取引先」を選択し、「レポートを開始」をクリックします。

③「アウトライン」で表示する列を設定し、「検索条件」で出力する取引先の条件を設定した後に、「保存 & 実行」をクリックします。

④作成されたレポートで「エクスポート」をクリックし、Salesforceの取引先リストを出力します。

①「新規レポート」をクリック

②レポートタイプ「取引先」を選択し、「レポートを開始」をクリック

③「アウトライン」「検索条件」を調整し、「保存 & 実行」をクリック

④「エクスポート」をクリック



## Salesforceへのインポートデータの準備

Salesforceインポート用のCSVデータを用意する

出力したZACクライアント得意先マスタCSVとSalesforce取引先レコードCSVを、「クライアント正式名」および「会社名」などで結合し、「ZACクライアントコード」「Salesforce取引先ID」が登録されたCSVデータを用意します。

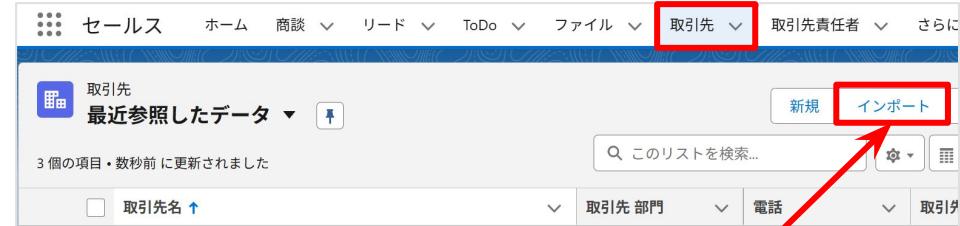
	A	B	C
1	クライアントコード	正式名称	レコードID
2	2220	株式会社A	5388830858
3	887	株式会社B	5265999305
4	2768	株式会社C	6906412711
5	2490	株式会社D	5266005351
6	2405	株式会社E	5266008554
7	2960	株式会社F	7216693644
8	3119	株式会社G	5388727977
9	3029	株式会社H	7434082716
10	2766	株式会社I	5388810785
11	3060	株式会社J	5387816818
12	1510	株式会社K	5265997833



## Salesforceへのインポート

Salesforce取引先オブジェクトに、ZACクライアントコードをインポートします。

- ①「セールス」画面で「取引先」タブを選択し、「インポート」をクリックします。
- ②「インポートしているデータの種類は？」において、「取引先と取引先責任者」を選択します。
- ③「レコードをどのように処理しますか？」において、「既存のレコードを更新」を選択し、「取引先の一致条件」を「Salesforce ID」を設定し、「既存の取引先情報を更新」にチェックを入れます。
- ④「データはどこにありますか？」において、取込ファイルをアップロードし、「次へ」をクリックします。



①「インポート」をクリック

②「取引先と取引先責任者」を選択

③「既存のレコードを更新」を選択し、下記の入力、チェックをする

④ファイルをアップロードし、「次へ」をクリック

データを Salesforce にインポート  
50,000 件までのレコードを一度にインポートできます。

インポートしているデータの種類は? ?

標準オブジェクト	カスタムオブジェクト
取引先 と 取引先責任者	

レコードをどのように処理しますか? ?

新規レコードを追加
既存のレコードを更新

取引先責任者の一致条件: ?  
名前

取引先の一致条件: ?  
Salesforce ID

既存の取引先情報を更新しますか? ?  
 既存の取引先情報を更新

データはどこにありますか? ?

ファイル  
取引先.csv  
文字コード ?  
日本語 Windows  
値の区切り文字  
カンマ

CSV  
Outlook CSV

キャンセル 前へ 次へ



## Salesforceへのインポート

⑤下記表のようにマッピングを行い、「次へ」をクリックします。

ファイルの列見出し	Salesforce項目
クライアントコード	ZACクライアント得意先コード
正式名称	ZACクライアント得意先名
レコードID	Salesforce ID

⑥内容を確認し「インポート完了」をクリックします。

最後に、Salesforceの取引先オブジェクトでインポートが正常に実行されているか確認します。

The screenshot shows the 'Mapping' step of an import wizard. A red box highlights the mapping table where columns are labeled 'Edit', 'Matched Salesforce Object or Project', and 'CSV Header'. The table contains three rows of mappings:

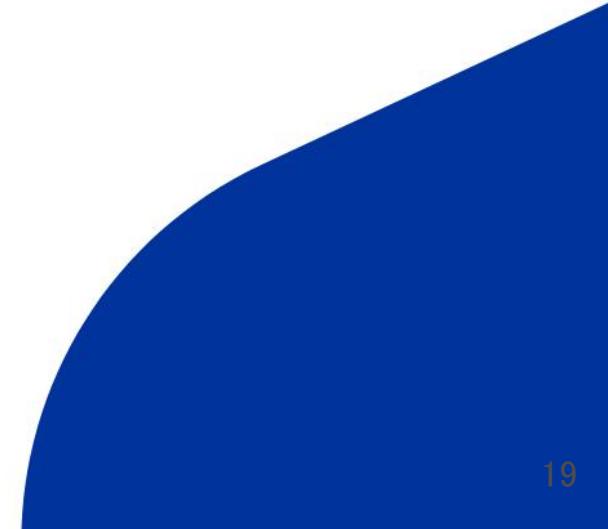
編集	対応付けられた Salesforce オブジェクト	CSV ヘッダー
変更	取引先: ZACクライアント得...	クライアントコード
変更	取引先: ZACクライアント得...	正式名称
変更	取引先: Salesforce ID	レコードID

Below the table are buttons for 'Cancel', 'Previous', and 'Next'. A red arrow points from the text '⑤マッピングを行い、「次へ」をクリック' to the 'Next' button.

⑤マッピングを行い、「次へ」をクリック

The screenshot shows the 'Import Summary' step of the wizard. It displays the number of records processed: 3 matched and 0 unmatched. Buttons for 'Cancel', 'Previous', and 'Start Import' are at the bottom. A red arrow points from the text '⑥「インポートを開始」をクリック' to the 'Start Import' button.

⑥「インポートを開始」をクリック



# **ZACに連携するSalesforceの項目 を変更する方法**



## 本章の目的

本章では、ZACに連携するSalesforceの項目を変更する方法を説明します。

なお、既に連携が設定されている項目を変更する場合と、新たに連携する項目を追加する場合では作業方法が異なります。

本章は前者を対象としておりますので、後者をご要望の場合は下記章をご参照ください。

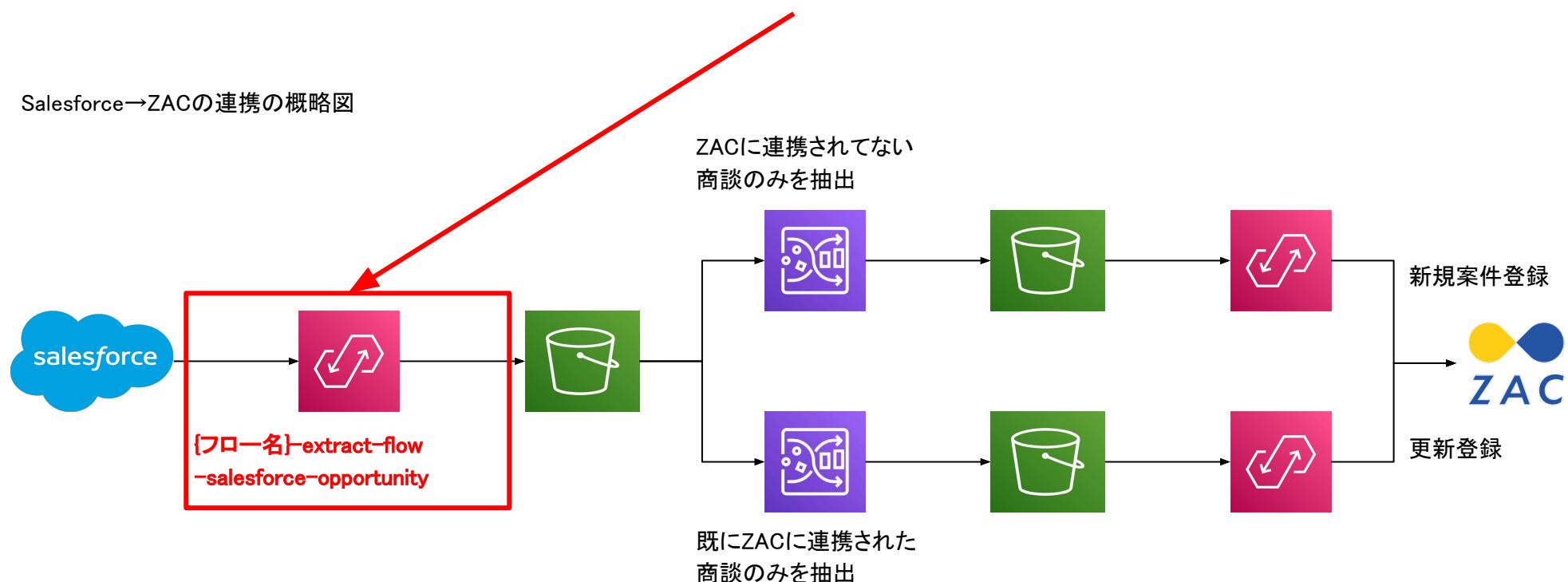
[ZACに連携するSalesforceの項目を追加する方法](#)

本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・セットアップ時に自動で作成されるカスタム項目ではなく、既に利用しているSalesforce項目をZACに連携させたい

本章ではこちらのフローのマッピングを変更します。

Salesforce→ZACの連携の概略図





## 取込ファイルの作成

連携項目の設定するために、取込ファイルを作成します。  
はじめに、現状のマッピングを定義しているファイルをダウンロードします。

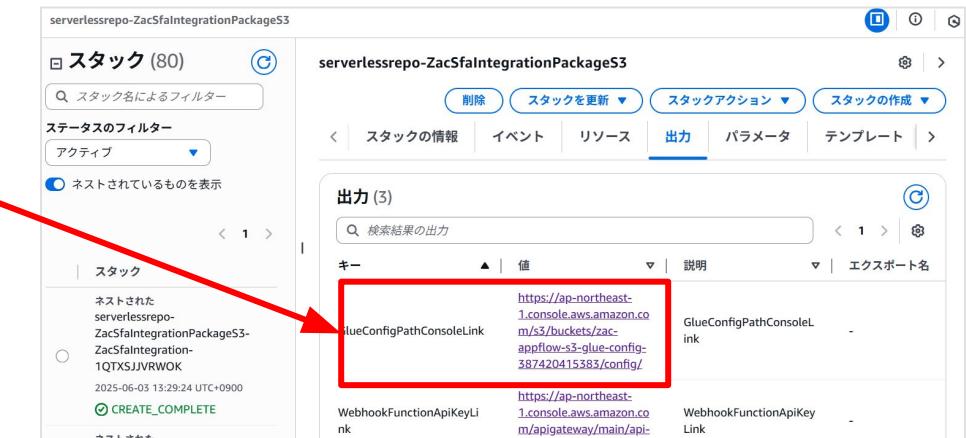
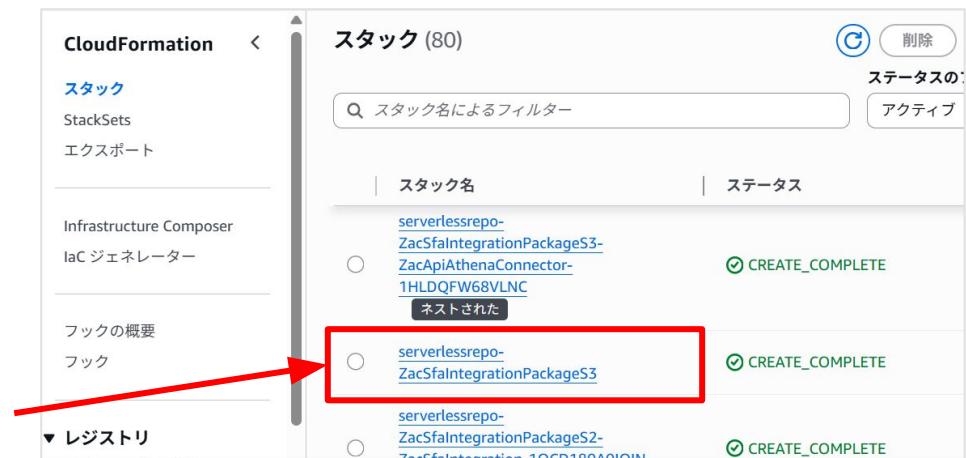
### 【CSVデータのダウンロード】

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」  
または  
「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」  
をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」  
のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック





## 取込ファイルの作成

- ④下記名前のオブジェクトにチェックを入れて、CSVをダウンロードします。

本番環境用の場合：

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

テスト環境用の場合：

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

- ④ 左記の3つのオブジェクトについて、チェックを入れ「ダウンロード」する。  
(ダウンロードはそれぞれ個別で行ってください)

オブジェクト	最終更新日時	サイズ	ストレージ
stage.csv	2025/06/13 03:12:12 PM JST	91.0 B	スタンダード
<input checked="" type="checkbox"/> zac-appflow-h1-create-flow-deal-to-zac.csv	2025/05/29 01:42:08 PM JST	2.3 KB	スタンダード
<input type="checkbox"/> zac-appflow-h1-create-flow-project-to-hubspot.csv	2025/05/29 01:42:09 PM JST	179.0 B	スタンダード



## 取込ファイルの作成

次に、ダウンロードしたファイルを編集します。

①下記ファイルを開きます。

(A列: Salesforce項目のAPI参照名、B列:S3のフィールド名)

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

テスト環境の場合:

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

②A列で変更前のSalesforce項目のAPI参照名を見つけ、

変更したいSalesforce項目のAPI参照名に変更し、

元のファイル名で保存します。

右の例は、ZACに「引合日」として連携するSalesforce項目を、セットアップで自動作成された「引合日(案件基本)」から、

別のSalesforceの日付項目に変更する場合の作業を示しています。

CSV

①「zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv」または  
「zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv」を開く

	A	B
19	zac_pi_code_seikyusaki_c	zac_project_infos_code_seikyusaki
20	zac_pi_else_name_seikyusaki_c	zac_project_infos_else_name_seikyusaki
21	zac_pi_code_client_c	zac_project_infos_code_client
22	zac_pi_else_name_client_c	zac_project_infos_else_name_client
23	zac_pi_date_hikiai_c	zac_project_infos_date_hikiai

②A列で変更前のSalesforce項目のAPI参照名を見つけ、  
変更したいSalesforce項目のAPI参照名に変更し、元のファイル名で保存

	A	B
19	zac_pi_code_seikyusaki_c	zac_project_infos_code_seikyusaki
20	zac_pi_else_name_seikyusaki_c	zac_project_infos_else_name_seikyusaki
21	zac_pi_code_client_c	zac_project_infos_code_client
22	zac_pi_else_name_client_c	zac_project_infos_else_name_client
23	hikiai_date_new_c	zac_project_infos_date_hikiai

Salesforce

### 項目とリレーション

2件の項目 (項目の表示ラベル順)

引合日

新規

項目の表示ラベル	項目名	データ型
引合日 (案件基本)	zac_pi_date_hikiai_c	日付
新引合日	hikiai_date_new_c	日付



## スケジュール連携のマッピング変更

作成したファイルをAWSにアップロードします。  
まずはスケジュール連携のマッピングを変更します。

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。
- ④ 一覧から下記フローをクリックします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity

テスト環境用の場合:

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity

### ① AppFlowと入力

The screenshot shows the AWS search interface. The search bar at the top contains the text 'Appflow'. Below the search bar, there is a sidebar with categories: 'サービス (3)', 'リソース New', 'ブログ (14)', 'ドキュメント (129)', and 'ナレッジ記事 (6)'. To the right, the main area displays search results for 'Amazon AppFlow'. The first result is highlighted with a red box and labeled 'Amazon AppFlow ★'. A tooltip below it states: 'Amazon AppFlow はアプリケーションを統合し、コードなしでデータフローを自動化...'. Other results include 'AWS Glue DataBrew ★'.

### ② Amazon AppFlowをクリック

The screenshot shows the 'Amazon AppFlow' service page. The title is 'Amazon AppFlow' and the subtitle is 'アプリケーションを安全に統合し、コードなしで簡単にデータフローを自動化'. On the right, there is a section titled 'Amazon AppFlow を起動' with a button labeled 'フローを作成'. The main content area has a note: '最初のフローを作成します。接続するアプリ、転送するデータ、およびフローを開始するためのトリガーを選択します。'.

### ③ 「フローを表示」をクリック

The screenshot shows the 'Amazon AppFlow' service page with the title 'Amazon AppFlow > フロー'. The left sidebar has navigation links: 'コネクタ', 'フロー', '接続', 'ユーザー', and 'ドキュメント'. The main area shows a table of flows. The first row is highlighted with a green circle and the text 'アクティブ..'. A red arrow points from the text in step 3 to this active status indicator. The table columns include 'フロー名', 'ステータス', '送信元', '送信先', 'トリガー', '作成日', and '作成'.

フロー名	ステータス	送信元	送信先	トリガー	作成日	作成
zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity	アクティブ	Amazon S3	zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity	オンデマンド	2024年9月	-
zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity	アクティブ	Amazon S3	HubSpot	オンデマンド	2024年9月	-

③ 「zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity」(本番)または、「zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity」(テスト)をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更

- ⑤ 画面下部の「マッピングされたフィールド」で「データフィールドを編集」をクリックします。
- ⑥ マッピング方法を、CSVアップロードに変更します。
- ⑦ 作成したファイルのアップロードをします。
- ⑧ 最後に、「保存」をクリックします。

データフィールドの設定 | パーティションと集約の設定 | フィルター | タグ | 実行履歴 | 送信元のランタイム設定

マッピングされたフィールド (28) 情報

Q 名前または式でフィールドをフィルター

送信元フィールド名 ▲ 送信先フィールド名 ▼ 式 ▼ データを変更

Amount amount	→	amount amount	-	-
Deal Name dealname	→	dealname dealname	-	-

データフィールドを編集

⑤「データフィールドを編集」をクリック

マッピング方法

手動でフィールドをマッピングする  
1つ以上の送信元フィールドを選択し、選択した送信先フィールドにマッピングします。

マッピングされたフィールドを含む.csvファイルをアップロードする  
送信元フィールドと送信先フィールドがすでにマッピングされている.csvファイルを作成してアップロードします。

⑥マッピング方法をCSVアップロードに変更

送信元から送信先フィールドへのマッピング

送信元フィールドを送信先フィールドにマッピングする方法を選択します。

ファイルのアップロード 情報

ファイルは.csv形式でなければなりません

zac-appflow-s3-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

⑦作成したCSVファイルをアップロードする

▶ 妥当性確認 - オプション

データフィールドに妥当性確認を追加し、無効なデータが見つかった場合に実行するアクションを指定します。

キャンセル 前へ 次へ **保存**

⑧「保存」をクリック



## イベント連携のマッピング変更

最後に、イベント連携のマッピングを変更します。

※イベント連携をご利用いただいている場合も、  
今後最新のマッピングデータをダウンロードできるよう、  
こちらの作業を行っていただくことを推奨いたします。

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」  
または  
「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」  
をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」  
のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック





## イベント連携のマッピング変更

- ④「アップロード」をクリックします。  
⑤作成したCSVファイルをアップロードし、「アップロード」をクリックします。

④「アップロード」をクリック

オブジェクト (3/9)  
S3 URI をコピー URL をコピー ダウンロード 削除 アクション フォルダの作成 不 アップロード  
オブジェクトは、Amazon S3 に保存された基本的なエンティティです。Amazon S3 インベントリを使用して、バケット内のすべてのオブジェクトのリストにアクセスできるためには、明示的にアクセス権限を付与する必要があります。詳細は[こちら](#)

Q ブレフィックスでオブジェクトを検索

Amazon S3 > バケット > zac-appflow-s3-glue-config-387420415383 > config/ > アップロード

アップロード 情報

S3 にアップロードするファイルとフォルダを追加します。160 GB を超えるファイルをアップロードするには、AWS CLI、AWS SDK、または Amazon S3 REST API を使用します。詳細は[こちら](#)

ここにアップロードするファイルとフォルダをドラッグアンドドロップするか、[ファイルを追加] または [フォルダを追加] を選択します。

⑤作成したファイルをアップロードし、「アップロード」をクリック

Amazon S3 > バケット > zac-appflow-s3-glue-config-387420415383 > config/ > アップロード

送信先 情報

送信先  
s3://zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/

▶ 送信先の詳細  
指定された宛先に保存された新しいオブジェクトに影響するバケット設定。

▶ アクセス許可  
他の AWS アカウントへのパブリックアクセスとアクセス権を付与します。

▶ プロパティ  
ストレージクラス、暗号化設定、タグなどを指定します。

キャンセル アップロード



# **ZACに連携するSalesforceの項目 を追加する方法**



## 本章の目的

本章では、ZACに連携するSalesforceの項目を追加する方法を説明します。

なお、既に連携が設定されている項目を変更する場合と、新たに連携する項目を追加する場合では作業方法が異なります。

本章は後者を対象としておりますので、全社をご要望の場合は下記章をご参照ください。

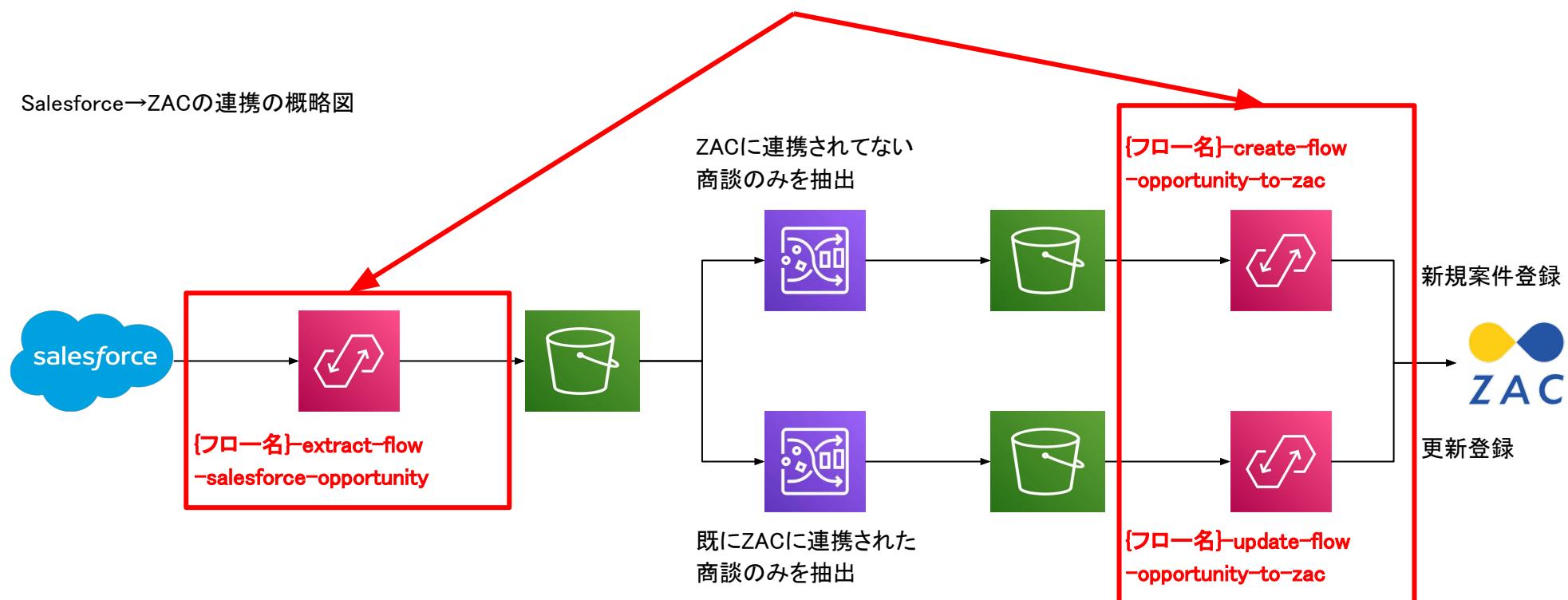
[ZACに連携するSalesforceの項目を変更する方法](#)

本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・ZAC案件基本に項目を追加したので、Salesforceからの連携項目を増やしたい  
(カスタムフィールドを追加した場合も含みます)

本章ではこれらのフローのマッピングを変更します。

Salesforce→ZACの連携の概略図





## 取込ファイルの作成

連携項目の設定するために、取込ファイルを作成します。  
はじめに、現状のマッピングを定義しているファイルをダウンロードします。

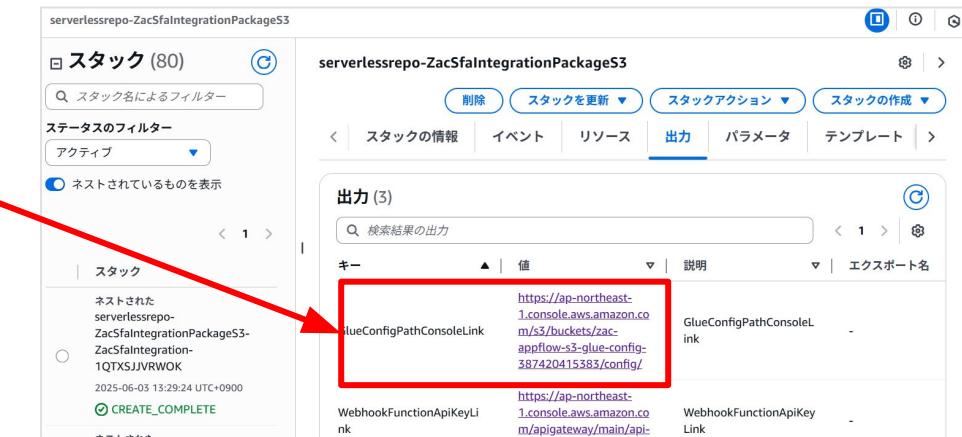
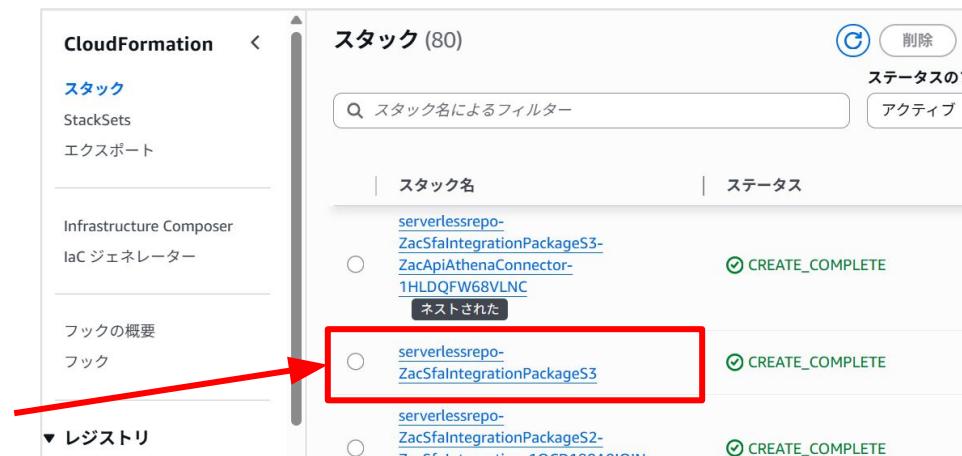
### 【CSVデータのダウンロード】

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」  
または  
「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」  
をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」  
のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック





## 取込ファイルの作成

- ④下記名前のオブジェクトにチェックを入れて、CSVをダウンロードします。

本番環境用の場合：

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv

zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv

テスト環境用の場合：

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv

- ④左記の3つのオブジェクトについて、チェックを入れ「ダウンロード」する。  
(ダウンロードはそれぞれ個別で行ってください)

オブジェクト	最終更新日時	サイズ	ストレージ
stage.csv	2025/06/13 03:12:12 PM JST	91.0 B	スタンダード
<input checked="" type="checkbox"/> zac-appflow-h1-create-flow-deal-to-zac.csv	2025/05/29 01:42:08 PM JST	2.3 KB	スタンダード
<input type="checkbox"/> zac-appflow-h1-create-flow-project-to-hubspot.csv	2025/05/29 01:42:09 PM JST	179.0 B	スタンダード
<input type="checkbox"/> zac-appflow-h1-extract-flow-hubspot-company.csv	2025/05/29 01:42:13 PM JST	47.0 B	スタンダード
<input checked="" type="checkbox"/> zac-appflow-h1-extract-flow-hubspot-deal.csv	2025/05/29 01:42:03 PM JST	3.3 KB	スタンダード
<input type="checkbox"/> zac-appflow-h1-update-flow-client-to-hubspot.csv	2025/05/29 01:42:14 PM JST	65.0 B	スタンダード
<input checked="" type="checkbox"/> zac-appflow-h1-update-flow-deal-to-zac.csv	2025/05/29 01:42:10 PM JST	2.3 KB	スタンダード



## 取込ファイルの作成

次に、ダウンロードしたファイルを編集します。

①下記ファイルを開きます。

(A列: Salesforce項目のAPI参照名、B列: S3のフィールド名)

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

テスト環境の場合:

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

②A列に追加したいSalesforce項目の「API参照名」を、  
B列に任意の名称を入力して、元のファイル名で保存します。

③下記ファイルを開きます。

(A列: S3のフィールド名、B列: ZAC項目のAPIキー名)

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv

テスト環境の場合:

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv

④A列に②でB列に入力した名称を入力し、  
B列にZACのAPIキー名を入力して、元のファイル名で保存します。  
ZACのAPIキー名の確認方法については下記をご参照ください。

[\(補足\)ZACのAPIキー名の確認方法](#)

⑤下記ファイルについても③～④と同様に作成します。

(A列: S3のフィールド名、B列: ZAC項目のAPIキー名)

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv

テスト環境の場合:

zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac.csv

①「zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv」または  
「zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv」を開く

A	B
46 zac_ps_code_kazei_kubun_c	zac_project_sales_code_kazei_kubun
47 zac_ps_tax_rate_c	zac_project_sales_tax_rate
48 zac_ps_ct_data_import_progr	zac_project_sales_code_type_data_import_progress
49 zac_ps_code_yotei_urage_pr	zac_project_sales_code_yotei_urage_progress
50 add_field_c	add_field_c
51	

②A列にSalesforce項目の「API参照名」を、B列に任意の名称を入力して保存

③「zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv」または  
「zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv」を開く

A	B
24 zac_project_infos_custom_file	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField4
25 zac_project_infos_custom_file	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField5
26 zac_project_infos_custom_file	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField6
27 zac_project_infos_custom_file	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField7
28 add_field_c	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField8
29	

④A列に②でB列に入力した名称を入力し、B列にZACのAPIキー名を入力して保存

③「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv」または  
「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac.csv」を開く、

③～④と同様に追記して保存

A	B
24 zac_project_infos_custom_file	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField4
25 zac_project_infos_custom_file	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField5
26 zac_project_infos_custom_file	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField6
27 zac_project_infos_custom_file	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField7
28 add_field_c	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField8
29	



## (補足)ZACのAPIキーノの確認方法

ZACに連携する項目を追加する場合の、  
ZAC項目のAPIキーノの取得方法を説明します。

- ①ZACにログインし、左側のメニューから  
その他>APIリファレンス(取込)をクリックします。
- ②「project\_and\_profit\_plans\_eligible\_invoice/import(テーブルデータ取込(案件基本+利益計画)登録API)」を選択します。
- ③案件基本の項目の場合は「AddProjectInfos」を、  
売上項目の項目の場合は「AddProjectSales」をクリックし、  
対象の項目のAPIキーノを確認します。
- ④取込ファイルで指定するAPIキーノは以下のようになります。

### ・案件基本

カスタムフィールド以外: AddProjectInfos\_{対象項目のAPIキーノ}、 AddProjectInfos\_CustomFields\_{対象項目のAPIキーノ}

### ・売上項目

AddProjectSales\_{対象項目のAPIキーノ}

#### 例) 事業セグメントコード

AddProjectInfos\_CodeProjectJigyouSegment

The screenshot shows the ZAC API Reference interface. On the left, under 'Case Basic', there is a red box around the 'AddProjectInfos' endpoint. The response schema is shown as an array of objects with items, containing fields: 'CodeProjectOld' (string, default null), 'NameProject' (string, default null), 'CodeProjectKakuritsu' (string, default null), and 'CodeProjectJigyouSegment' (string, default null). The 'CodeProjectJigyouSegment' field is highlighted with a red box.

#### 例) カスタムフィールド

AddProjectInfos\_CustomFields\_CustomField1

The screenshot shows the ZAC API Reference interface. On the left, under 'Case Basic', there is a red box around the 'CustomFields' endpoint. The response schema is shown as an array of objects with items, containing a 'Key' field (string, default null, enum: "CustomField1", "CustomField2", "CustomField3", "CustomField4", "CustomField5", "CustomField6", "CustomField7", "CustomField8"). Below this, there is a section titled 'APIキー' with the sub-section 'カスタムフィールドマスターで設定'. A list of four items is provided: 'CustomField1' - テキスト, 'CustomField2' - テキスト, 'CustomField3' - 数値:string, 'CustomField4' - 日付:string. The 'CustomField1' item is highlighted with a red box.

#### 例) 売上区分コード

AddProjectSales\_CodeUriageKubun

The screenshot shows the ZAC API Reference interface. On the left, under 'Sales Item', there is a red box around the 'AddProjectSales' endpoint. The response schema is shown as an array of objects with items, containing fields: 'CodeProjectOld' (string, default null), 'CodeYoteiUriageData' (string, default null), 'NameYoteiUriageData' (string, default null), and 'CodeUriageKubun' (string, default null). The 'CodeUriageKubun' field is highlighted with a red box.



## スケジュール連携のマッピング変更(Salesforce→S3)

作成したファイルをAWSにアップロードします。  
まずは、スケジュール連携のSalesforce→S3のマッピングの変更をします。

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。
- ④ 一覧から下記フローをクリックします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity

テスト環境用の場合:

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity

① AppFlowと入力

The screenshot shows the AWS search interface. The search bar at the top contains the text 'Appflow'. Below the search bar, there is a sidebar with categories: 'サービス (3)', 'リソース New', 'ブログ (14)', 'ドキュメント (129)', and 'ナレッジ記事 (6)'. The main area displays search results for 'Amazon AppFlow'. A red box highlights the search bar and the 'Amazon AppFlow' result card, which includes a star icon and a brief description: 'Amazon AppFlow はアプリケーションを統合し、コードなしでデータフローを自動化...'.

② Amazon AppFlowをクリック

The screenshot shows the 'Amazon AppFlow' service page. The title is 'Amazon AppFlow' and the subtitle is 'アプリケーションを安全に統合し、コードなしで簡単にデータフローを自動化'. On the right side, there is a section titled 'Amazon AppFlow を起動' with a button labeled 'フローを作成'. A red box highlights this 'Create Flow' button.

③ 「フローを表示」をクリック

The screenshot shows the 'Amazon AppFlow' service page with the title 'Amazon AppFlow > フロー'. The subtitle is 'フロー (102) 情報'. There is a table listing flows. One row is highlighted with a red arrow pointing to the 'アクティブ' (Active) status column. The flow name is 'zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity'. The table has columns for 'フロー名', 'ステータス', '送信元', '送信先', 'トリガー', '作成日', and '作成' (Create).

フロー名	ステータス	送信元	送信先	トリガー	作成日	作成
zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity	アクティブ	Amazon S3	zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity	オンデマンド	2024年9月	<button>フローを作成</button>
zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity	アクティブ	Amazon S3	HubSpot	オンデマンド	2024年9月	<button>フローを作成</button>

③ 「zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity」(本番)または、「zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity」(テスト)をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更(Salesforce→S3)

⑤画面下部の「マッピングされたフィールド」で「データフィールドを編集」をクリックします。

⑥マッピング方法を、CSVアップロードに変更します。

⑦作成した下記のファイルのアップロードをします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

テスト環境の場合:

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

⑧最後に、「保存」をクリックします。

データフィールドの設定 パーティションと集約の設定 フィルター タグ 実行履歴 送信元のランタイム設定

マッピングされたフィールド (28) 情報

名前または式でフィールドをフィルター

送信元フィールド名 送信先フィールド名 式 データを変更

Amount	amount	-	-
Deal Name	dealname	-	-

データフィールドを編集

⑤「データフィールドを編集」をクリック

マッピング方法

○ 手動でフィールドをマッピングする  
1つ以上の送信元フィールドを選択し、選択した送信先フィールドにマッピングします。

○ マッピングされたフィールドを含む.csvファイルをアップロードする  
送信元フィールドと送信先フィールドがすでにマッピングされている.csvファイルを作成してアップロードします。

⑥マッピング方法をCSVアップロードに変更

送信元から送信先フィールドへのマッピング

送信元フィールドを送信先フィールドにマッピングする方法を選択します。

ファイルのアップロード 情報

不 ファイルを選択

ファイルは .csv 形式でなければなりません

zac-appflow-s3-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

⑦作成したCSVファイルをアップロードする

▶ 妥当性確認 - オプション

データフィールドに妥当性確認を追加し、無効なデータが見つかった場合に実行するアクションを指定します。

キャンセル 前へ 次へ 保存

⑧「保存」をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更(Salesforce→S3)

① Stepと入力

S3→ZACの連携項目を定義するために、  
前ページまで設定したSalesforce項目をS3に連携します。  
まずは、新規登録に関する連携を行います。

### 【Step Functionsサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Step」と入力します。
- ② 検索一覧から「Step Functions」をクリックします。
- ③ 「ステートマシン」画面で名前:

テスト環境用の場合「zac-appflow-test-create-flow-workflow」  
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-create-flow-workflow」  
をクリックします。



② Step Functionsをクリック

名前	タイプ	作成日	ステータス
zac-appflow-test-create-flow-workflow	標準	2024年2月27日 16:11:44 (UTC+09:00)	アクティブ
zacapi-appflow-update-flow-project-to-hubspot	標準	2024年2月27日 16:11:44 (UTC+09:00)	アクティブ
zacapi-appflow-create-flow-project-to-hubspot	標準	2024年2月27日 16:11:44 (UTC+09:00)	アクティブ
zacapi-appflow-update-flow-deal-to-zac	標準	2024年2月27日 16:11:44 (UTC+09:00)	アクティブ
zacapi-appflow-create-flow-deal-to-zac	標準	2024年2月27日 16:11:43 (UTC+09:00)	アクティブ
zacapi-appflow-invoke-appflow-sync	標準	2024年2月27日 16:11:43 (UTC+09:00)	アクティブ

③ ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-create-flow-workflow」  
もしくは「zac-appflow-prod-create-flow-workflow」を選択



## スケジュール連携のマッピング変更(Salesforce→S3)

### 【連携の実行】

① 選択したステートマシンの画面から、

「実行を開始」をクリックします。

② 実行を開始ダイアログで「実行を開始」をクリックします。

※結果は失敗となる場合もございますが、次のページの確認ができますれば問題ございません。

The screenshot shows the AWS Step Functions console. In the top navigation bar, 'Step Functions' > 'ステートマシン' > 'ステートマシン: zac-appflow-test-create-flow-workflow'. On the right, there are buttons for '編集' (Edit), 'アクション' (Actions), and a redboxed '実行を開始' (Start Execution) button. Below this, a sub-dialog titled '実行を開始' is open. It has a field '名前' (Name) containing '08457614-e554-4b83-8ab1-9666bd5d6deb' with a note about character limits. A 'JSON' input area contains the JSON: '1 { 2 "Comment": "Insert your JSON here" 3 }'. At the bottom, there's a note '(1) 最新のリビジョンで実行を開始', a checkbox for '新しいブラウザタブで開く', and a redboxed '実行を開始' (Start Execution) button.

①「実行を開始」をクリック

②「実行を開始」をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更(Salesforce→S3)

### 【連携結果の確認】

①Amazon AppFlow>フローの画面を開きます。

②一覧から下記フローをクリックします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac

テスト環境用の場合:

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac

②フロー詳細>送信元バケットのリンクをクリックします。

③オブジェクトの「最終更新日時」から、

データが更新されていることを確認します。

The screenshot shows the 'Amazon AppFlow' service in the AWS Management Console. On the left, there's a sidebar with 'コネクタ', 'フロー', '接続', 'ユーザー', and 'ドキュメント' sections. The main area is titled 'Amazon AppFlow > フロー' and shows a list of flows. There are two entries:

フロー名	ステータス	送信元	送信先	トリガー
zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac	アクティブ	Amazon S3	zac-appflow-connectors-test	オンデマンド
zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac	アクティブ	Amazon S3	HubSpot	オンデマンド

①「zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac」(本番)または、「zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac」(テスト)をクリック

This screenshot shows the 'フローの詳細' (Flow Details) page for the flow 'zac-appflow-test-create-flow-deal-to-zac'. The page includes fields for the flow name, description, AWS KMS key, creation date, and various connection and status details. A specific section is highlighted with a red box:

送信元バケット	s3://zac-appflow-test-data-387420415383/zac-appflow-test-create-flow-deal-brew-output/
---------	--

A red arrow points to the 'Send Bucket' link with the instruction '②送信元バケットのリンクをクリック'.

This screenshot shows the 'オブジェクト' (Objects) page in the Amazon S3 console. It lists one object named 'data.json' with the following details:

名前	タイプ	最終更新日時
data.json	json	2025/09/12 08:07:02 PM JST

A red arrow points to the 'Last modified' column with the instruction '③最終更新日時から、データが更新されていることを確認'.

③「最終更新日時」から、  
データが更新されていることを確認



## スケジュール連携のマッピング変更(Salesforce→S3)

① Stepと入力

次に、更新登録に関する連携を行います。

### 【Step Functionsサービスの選択】

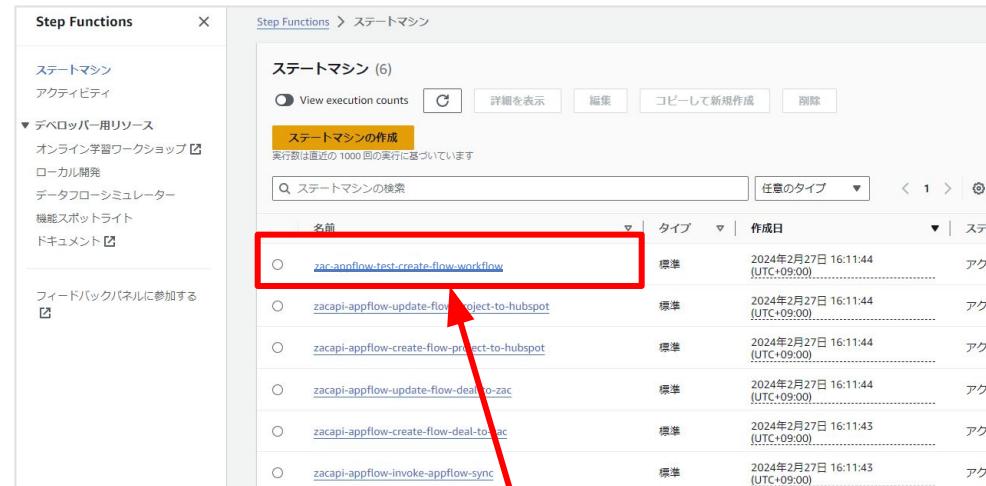
- ① ページ上部検索欄に「Step」と入力します。
- ② 検索一覧から「Step Functions」をクリックします。
- ③ 「ステートマシン」画面で名前:

テスト環境用の場合「zac-appflow-test-update-flow-workflow」

本番環境用の場合「zac-appflow-prod-update-flow-workflow」  
をクリックします。



② Step Functionsをクリック



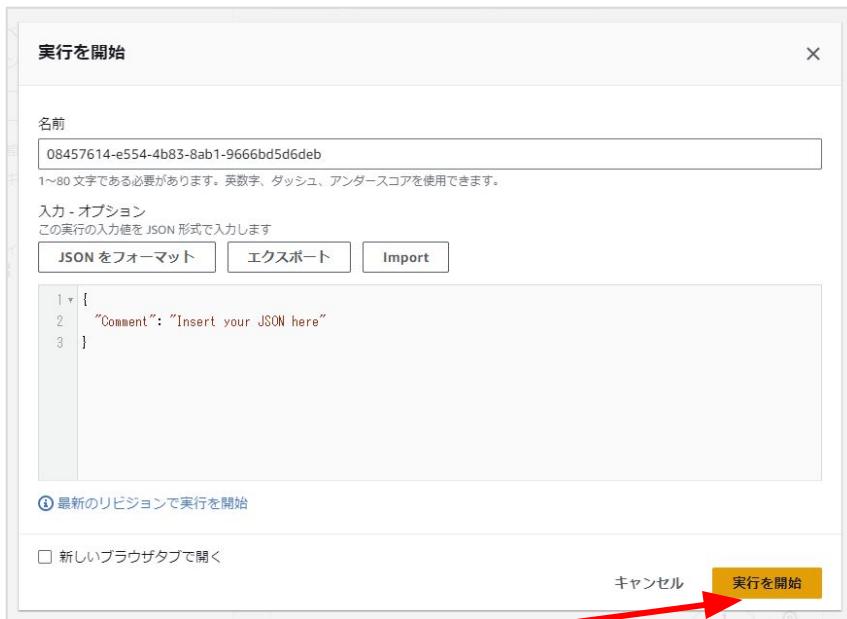
③ ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-update-flow-workflow」  
もしくは「zac-appflow-prod-update-flow-workflow」を選択



## スケジュール連携のマッピング変更(Salesforce→S3)

### 【連携の実行】

- ① 選択したステートマシンの画面から、「実行を開始」をクリックします。
- ② 実行を開始ダイアログで「実行を開始」をクリックします。  
※結果は失敗となる場合もございますが、次のページの確認ができますれば問題ございません。



②「実行を開始」をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更(Salesforce→S3)

### 【連携結果の確認】

①Amazon AppFlow>フローの画面を開きます。

②一覧から下記フローをクリックします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac

テスト環境用の場合:

zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac

②フロー詳細>送信元バケットのリンクをクリックします。

③オブジェクトの「最終更新日時」から、  
データが更新されていることを確認します。

The screenshot shows the 'Amazon AppFlow' service in the AWS Management Console. On the left, there's a sidebar with 'コネクタ', 'フロー', '接続', 'ユーザー', and 'ドキュメント' sections. The main area is titled 'Amazon AppFlow > フロー' and shows a list of flows. There are two entries: 'zac-appfl...' and 'zac-ap...'. The second entry is highlighted with a red arrow.

①「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac」(本番)または、「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac」(テスト)をクリック

The screenshot shows the 'フローの詳細' (Flow Details) page for the flow 'zac-appflow-test-create-flow-deal-to-zac'. It lists various configuration details like the flow name, source and target accounts, and trigger type. A red box highlights the '送信元バケット' (Source Bucket) field, which contains the URL 's3://zac-appflow-test-data-387420415383/zac-appflow-test-create-flow-deal-brew-output/'. Below this, a red arrow points to the text '②送信元バケットのリンクをクリック' (Click the link to the source bucket).

The screenshot shows the 'オブジェクト' (Objects) page in the S3 console for the bucket 'zac-appflow-test-data-387420415383'. It lists objects with their names and types. A red box highlights the '最終更新日時' (Last Updated) column, which shows the timestamp '2025/09/12 08:07:02 PM JST'. Below this, a red arrow points to the text '③「最終更新日時」から、データが更新されていることを確認' (Check if data has been updated from the 'Last Updated' time).



## スケジュール連携のマッピング変更(S3→ZAC)

S3→ZACの新規登録連携のマッピングを変更します。

### 【Amazon AppFlowサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。
- ④ 一覧から下記フローをクリックします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac

テスト環境用の場合:

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac

### ① AppFlowと入力

The screenshot shows the AWS search interface. The search bar at the top contains the text 'Appflow'. Below the search bar, there is a sidebar with categories: 'サービス (3)', 'リソース New (14)', 'ログ (14)', 'ドキュメント (129)', and 'ナレッジ記事 (6)'. To the right, the main area displays the search results for 'Appflow', with 'Amazon AppFlow' being the top result. A red box highlights both the search bar and the 'Amazon AppFlow' entry.

### ② Amazon AppFlowをクリック

The screenshot shows the Amazon AppFlow service landing page. The title 'Amazon AppFlow' is displayed prominently. Below it, a subtitle reads 'アプリケーションを安全に統合し、コードなしで簡単にデータフローを自動化'. A call-to-action button labeled 'フローを作成' is highlighted with a red box. To the right, there is a section titled 'Amazon AppFlow を起動' with the sub-instruction '最初のフローを作成します。接続するアプリ、転送するデータ、およびフローを開始するためのトリガーを選択します.'.

### ③ 「フローを表示」をクリック

The screenshot shows the 'Flows' list view in the Amazon AppFlow console. The left sidebar includes 'コネクタ', 'フロー', '接続', 'ユーザー', and 'ドキュメント'. The main area has a header with buttons for '情報', '詳細を表示', '削除', '編集', '新しいフローにコピー', and 'フローを作成'. Below is a search bar and a table with two rows. The first row is for 'zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac' and the second row is for 'zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac'. Both rows show 'アクティブ' status, 'Amazon S3' as the source, and either 'zac-appfl...' or 'HubSpot' as the destination. A red arrow points to the second row.

③ 「zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac」(本番)または、「zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac」(テスト)をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更(S3→ZAC)

⑤画面下部の「マッピングされたフィールド」で「データフィールドを編集」をクリックします。

⑥マッピング方法を、CSVアップロードに変更します。

⑦作成した下記のファイルのアップロードをします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv

テスト環境の場合:

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv

⑧最後に、「保存」をクリックします。

データフィールドの設定 パーティションと集約の設定 フィルター タグ 実行履歴 送信元のランタイム設定

マッピングされたフィールド (28) 情報

名前または式でフィールドをフィルター

送信元フィールド名 ▲ 送信先フィールド名 ▼ 式 ▼ データを変更

Amount	→	amount	-	-
Deal Name	→	dealname	-	-

データフィールドを編集

⑤「データフィールドを編集」をクリック

マッピング方法

手動でフィールドをマッピングする  
1つ以上の送信元フィールドを選択し、選択した送信先フィールドにマッピングします。

マッピングされたフィールドを含む.csv ファイルをアップロードする  
送信元フィールドと送信先フィールドがすでにマッピングされている.csv ファイルを作成してアップロードします。

⑥マッピング方法をCSVアップロードに変更

送信元から送信先フィールドへのマッピング

送信元フィールドを送信先フィールドにマッピングする方法を選択します。

ファイルのアップロード 情報

不 ファイルを選択

ファイルは.csv 形式でなければなりません

⑦作成したCSVファイルをアップロードする

▶ 妥当性確認 - オプション

データフィールドに妥当性確認を追加し、無効なデータが見つかった場合に実行するアクションを指定します。

キャンセル 前へ 次へ 保存

⑧「保存」をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更(S3→ZAC)

次に更新登録のマッピングの定義を行います。

### 【Amazon AppFlowサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。
- ④ 一覧から下記フローをクリックします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac

テスト環境用の場合:

zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac

① AppFlowと入力

The screenshot shows the AWS search interface. The search bar at the top contains the text 'Appflow'. Below the search bar, there is a sidebar with categories: 'サービス (3)', 'リソース New', 'ブログ (14)', 'ドキュメント (129)', and 'ナレッジ記事 (6)'. To the right, the main area displays the search results for 'Appflow'. A box highlights the first result, 'Amazon AppFlow ★', with a description: 'Amazon AppFlow はアプリケーションを統合し、コードなしでデータフローを自動化...'. Below this result is another entry, 'AWS Glue DataBrew ★'.

② Amazon AppFlowをクリック

The screenshot shows the Amazon AppFlow service landing page. The title 'Amazon AppFlow' is displayed prominently. Below it, a subtitle reads 'アプリケーションを安全に統合し、コードなしで簡単にデータフローを自動化'. A paragraph explains that Amazon AppFlow is a fully managed integration service that allows users to connect their applications and AWS services without writing code. On the right side, there is a call-to-action button labeled 'フローを作成' (Create Flow), which is also highlighted with a red box. Another button labeled 'フローを表示' (View Flow) is visible next to it.

③ 「フローを表示」をクリック

The screenshot shows the 'Flows' list view in the Amazon AppFlow console. The left sidebar includes links for 'コネクタ', 'フロー', '接続', 'ユーザー', and 'ドキュメント'. The main area has a header with buttons for '情報', '詳細を表示', '削除', '編集', '新しいフローにコピー', and 'フローを作成'. Below this is a search bar with the placeholder 'フローを検索...'. The table lists two flows:

フロー名	ステータス	送信元	送信先	トリガー	作成日	操作
zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac	アクティブ	Amazon S3	zac-appflow	オンデマンド	2024年9月	-
zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac	アクティブ	Amazon S3	HubSpot	オンデマンド	2024年9月	-

A red arrow points to the second flow in the list.

④ 「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac」(本番)または、「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac」(テスト)をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更(S3→ZAC)

⑤画面下部の「マッピングされたフィールド」で「データフィールドを編集」をクリックします。

⑥マッピング方法を、CSVアップロードに変更します。

⑦作成した下記のファイルのアップロードをします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv

テスト環境の場合:

zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac.csv

⑧最後に、「保存」をクリックします。

データフィールドの設定 パーティションと集約の設定 フィルター タグ 実行履歴 送信元のランタイム設定

マッピングされたフィールド (28) 情報

名前または式でフィールドをフィルター

送信元フィールド名 ▲ 送信先フィールド名 ▼ 式 ▼ データを変更

Amount	→	amount	-	-
Deal Name	→	dealname	-	-

データフィールドを編集

⑤「データフィールドを編集」をクリック

マッピング方法

手動でフィールドをマッピングする  
1つ以上の送信元フィールドを選択し、選択した送信先フィールドにマッピングします。

マッピングされたフィールドを含む.csvファイルをアップロードする  
送信元フィールドと送信先フィールドがすでにマッピングされている.csvファイルを作成してアップロードします。

⑥マッピング方法をCSVアップロードに変更

送信元から送信先フィールドへのマッピング

送信元フィールドを送信先フィールドにマッピングする方法を選択します。

ファイルのアップロード 情報

不 ファイルを選択

ファイルは.csv形式でなければなりません

⑦作成したCSVファイルをアップロードする

▶ 妥当性確認 - オプション

データフィールドに妥当性確認を追加し、無効なデータが見つかった場合に実行するアクションを指定します。

キャンセル 前へ 次へ 保存

⑧「保存」をクリック



## イベント連携のマッピング変更

最後に、イベント連携のマッピングを変更します。

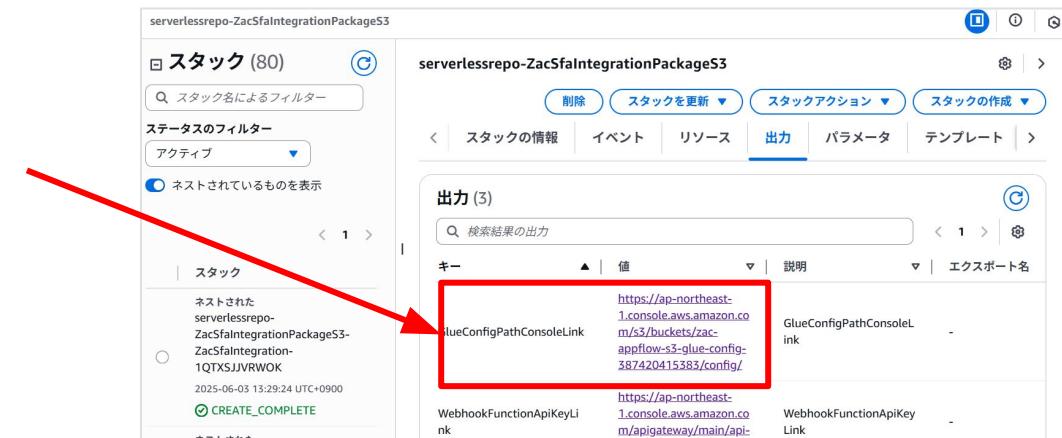
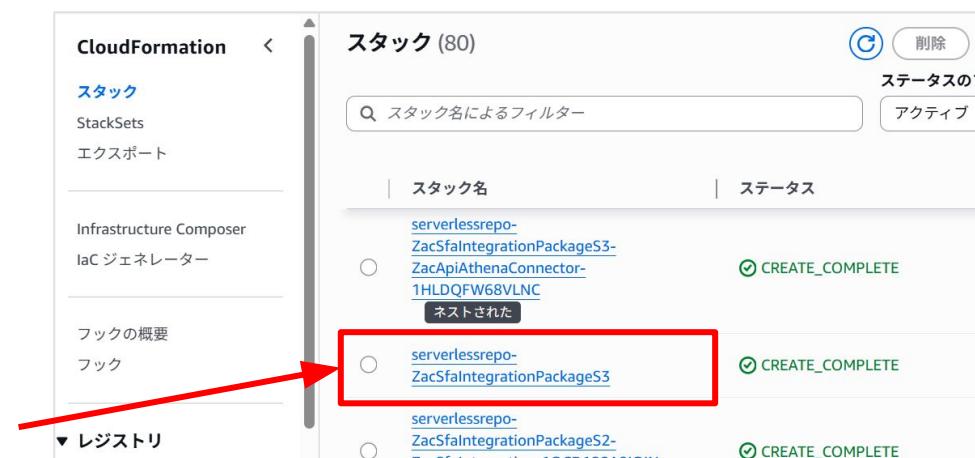
※イベント連携をご利用いただいているお客様も、  
今後最新のマッピングデータをダウンロードできるよう、  
こちらの作業を行っていただくことを推奨いたします。

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」  
または  
「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」  
をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」  
のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック





## イベント連携のマッピング変更

- ④「アップロード」をクリックします。  
⑤作成した下記CSVファイル3種類をアップロードし、「アップロード」をクリックします。

本番環境用の場合:

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv

zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv

テスト環境用の場合:

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv

④「アップロード」をクリック



⑤作成したファイルをアップロードし、「アップロード」をクリック

# **連携対象のフェーズの変更方法**



## Salesforce商談フェーズ—ZAC決定確率の変換設定

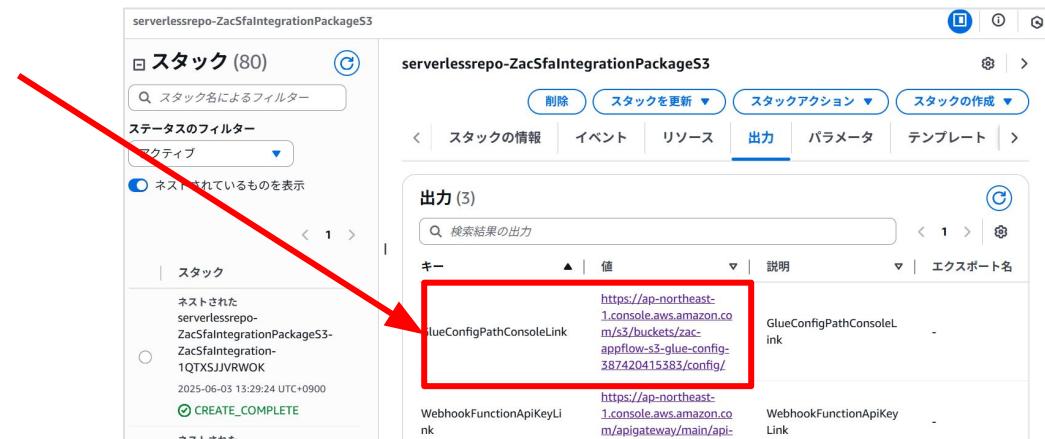
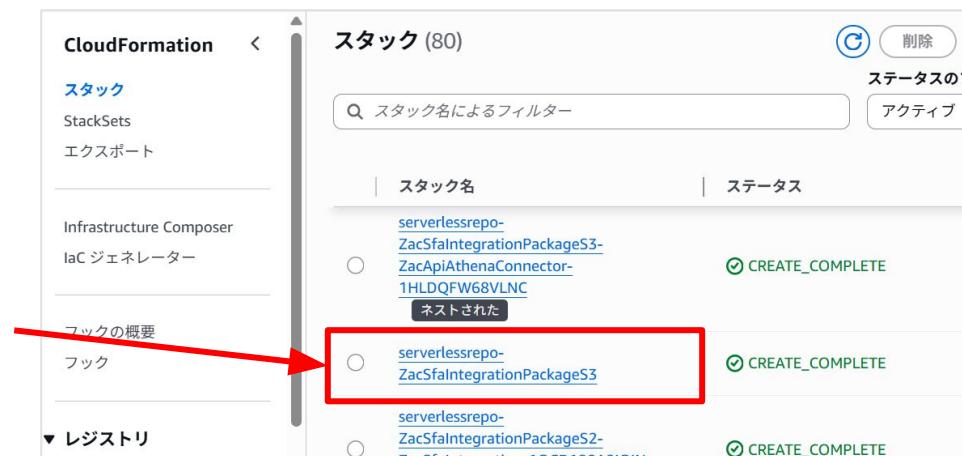
AWSで、Salesforce商談フェーズとZAC決定確率のデータ変換の設定の変更方法について説明します。

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」  
または  
「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」  
をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」  
のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック





## Salesforce商談フェーズ—ZAC決定確率の変換設定

④「stage.csv」にチェックを入れ、「ダウンロード」をクリック

Amazon S3 > パケット > zac-appflow-s3-glue-config-387420415383 > config/

**config/**

オブジェクト プロパティ

オブジェクト (1/9)

stage.csv CSV  
zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/\_create-flow-opportunity-to-zac.csv CSV

アップロード

名前 タイプ 最終更新日

stage.csv CSV 2025/06/01 JST

zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/\_create-flow-opportunity-to-zac.csv CSV 2025/06/01 JST

⑥ CSV作成後、「アップロード」をクリック

Amazon S3 > パケット > zac-appflow-s3-glue-config-387420415383 > config/ > アップロード

アップロード 情報

S3 にアップロードするファイルとフォルダを追加します。160 GB を超えるファイルをアップロードするには、AWS CLI、AWS SDK、または Amazon S3 REST API を使用します。[詳細はこち](#)

ここにアップロードするファイルとフォルダをドラッグアンドドロップするか、[ファイルを追加] または [フォルダを追加] を選択します。

⑦ 作成した「stage.csv」をアップロードし、「アップロード」をクリック

Amazon S3 > パケット > zac-appflow-s3-glue-config-387420415383 > config/ > アップロード

送信先 情報

送信先  
<s3://zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/>

▶ 送信先の詳細  
指定された宛先に保存された新しいオブジェクトに影響するパケット設定。

▶ アクセス許可  
他の AWS アカウントへのパブリックアクセスとアクセス権を付与します。

▶ プロパティ  
ストレージクラス、暗号化設定、タグなどを指定します。

キャンセル アップロード

④ オブジェクトの「stage.csv」にチェックを入れ、「ダウンロード」をクリックします。

⑤ ダウンロードしたCSVを開き、事前に整理した「Salesforce商談フェーズの内部ID」と「ZACの決定確率コード」を入力します。

CSVの作成例として、下記キャプチャをご参照ください。

※「Salesforce商談フェーズの内部ID」に日本語が含まれる場合、文字コードはUTF-8(BOM無)で保存してください。(BOM有・BOM付きで保存されていると読み込みに失敗します)

⑥ CSVが作成できましたら、再びAWSの画面に戻り、「アップロード」をクリックします。

⑦ ドラッグアンドドロップで作成した「stage.csv」をアップロードし、「アップロード」をクリックします。

⑤ ダウンロードしたCSVに、事前に整理した「Salesforce商談フェーズの内部ID」と「ZACの決定確率コード」を入力して保存

参考) stage.csvの作成例

	A	B
1	stage	zac_project_infos_dealstage
2	appointmentscheduled	4
3	qualifiedtobuy	3
4	presentationscheduled	2
5	decisionmakerboughtin	1
6	contractsent	1

CSV



**oRo co.,ltd.**